



とっとり

第119号

市議会だより

編集:市議会だより編集委員会 発行:鳥取市議会 E-mail:gikai@city.tottori.tottori.jp

市勢メモ

| |
|---------------------------|
| 平成15年1月1日現在 |
| 人口 計 151,045 人 |
| 男 73,066 人 |
| 女 77,979 人 |
| 世帯数 56,829 世帯 |
| 面積 237.20 km ² |

「ひさしづりー」
鳥取市成人式会場にて（1月12日県民文化会館）



12月定例会

改選新議会の構成決まる

議長に三谷 伝氏
副議長に上杉栄一氏

鳥取市議会議員選挙後初めての議会が、十二月十七日から二十七日までの十一日間の会期で開かれた。市長提出の「平成十四年度一般会計補正予算」など二十二議案のうち、「平成十三年度歳入歳出各会計決算認定について」を継続審査とし、「職員給与条例等の一部改正について」は修正可決、他の二十議案と議員提出の特別委員会の設置など五議案を可決、同意した。

改選後初の議会であるため、まず正副議長の選挙を行い、議長に三谷伝氏、副議長に上杉栄一氏が選出された。



三谷議長

議長に選ばれた三谷氏は、「市民のためまちづくりを念頭において議会活動をしたい。市町村合併をはじめ、諸問題について誠心誠意努力させていだけ」と、副議長に選ばれた上杉氏は「市民の幸のため、鳥取市が抱える諸問題について、議長を支えながら全力を尽くしたい」と、それぞれ抱負を述べた。



上杉副議長

市長は提案説明にあたり、「四月の就任以来今日まで、『市民の立場に立つ、市民生活を大切に、まちに活力と魅力を』の理念のもと、二十一世紀の新しい時代にふさわしい活力と魅力ある市民生活と地域社会を実現するために、今後とも議員の皆様と相互理解の上に立ち、オープンで建設的な論議を積み重ねながら、信頼関係を築き、市民が主役の新しい市政の実現に共に取り組んでいきたい。また、市町村合併については、今後、一市八町村が力を合わせて、県都鳥取市を産業、文化、教育、福祉、環境などの市民生活の各分野において、山陰の発展をリードする日本海地域有数の中核都市となるよう、地域づくりに取り組んでいく」旨述べた。

◎次ページで常任委員会委員等の紹介をしています。

議会運営委員会委員 (委員は議席順)

常任委員会

常任委員会は、議会の内部機関で、議案や請願、陳情の審査を行うため、条例で設けられたものです。鳥取市議会の場合、総務企画、福祉環境、文教経済、建設水道の四つの常任委員会が設けられ、それぞれ専門的に次のような所管事項を調査・審査しています。委員は、どれか一つの常任委員会に所属することになっています。



委 員 西照典 (こう風)



副委員長 武田えみ子 (公明党)



委 員 野山洋一 (新国会)

◆総務企画委員会
総務部、企画部、選管、監査、公平委員会の所管に属する事項、及び他の常任委員会の所属に属しない事項



委 員 奥村繁巳 (公明党)



副委員長 谷口満 (会派 21)



委 員 富富三郎 (新国会)

◆福祉環境委員会
福祉保健部、生活環境部、病院事業、介護老人保健施設事業の所管に属する事項



委 員 桑田達也 (公明党)



副委員長 角谷敏男 (共産党)



委 員 嶋崎健一 (公明党)

◆文教経済委員会
商工観光部、農林水産部、教育委員会、農業委員会の所管に属する事項



委 員 畷口秀夫 (公明党)



副委員長 松本信光 (こう風)



委 員 豊田孝春 (民世会)

◆建設水道委員会
建設部、下水道部、水道事業の所管に属する事項

特別委員会は、特に重要な事件や臨時的な事件等について、調査・審議します。

特別委員会

◆市町村合併に関する調査特別委員会

市町村合併に関する調査・研究を行う。

- 委員長 福田 泰昌
- 副委員長 河越 良二
- 委員 田村 繁巳
- 委員 秋口 政俊
- 委員 松田 重実
- 委員 森本 正行
- 委員 高見 則夫
- 委員 山崎 健一
- 委員 角谷 敏男
- 委員 森田 紘一郎
- 委員 両川 洋々
- 委員 上杉 栄一
- 委員 国富 三郎
- 委員 武田 えみ子
- 委員 佐々木 紘一
- 委員 藤原 繁義
- 委員 本多 達郎

◆中心市街地活性化に関する調査特別委員会

中心市街地活性化に関する調査・研究を行う。

- 委員長 橋尾 泰博
- 副委員長 山下 武雄
- 委員 桑田 達也
- 委員 谷口 秀夫
- 委員 鶴巻 順
- 委員 中西 照典

新しい議会の構成 // 常任・特別・



委 冨越 良二
(こう風)



委 藤原 繁義
(民社会)



委 橋尾 泰博
(新政会)



委 縣田 紘一郎
(会派 21)



委 秋口 政俊
(こう風)



委 員 本多 達郎
(新政会)



委 員 豊谷 伝
(こう風)



委 員 梶口 英子
(共産党)



委 員 高川 洋々
(民社会)



委 員 眞江 順子
(こう風)



委 員 輻田 泰昌
(新政会)



委 員 靴々木 紘一
(会派 21)



委 員 梶田 博幸
(新政会)



委 員 鞆田 重実
(こう風)



委 員 鶴巻 順
(こう風)



委 員 眞下 武雄
(新政会)



委 員 豊杉 栄一
(こう風)



委 員 高見 則夫
(新政会)



委 員 森本 正行
(こう風)



委 員 尋垣 健二
(会派 21)

委員長 本多 達郎
副委員長 両川 洋々
委員 秋口 政俊
高見 則夫
山崎 健一
角谷 敏男
谷口 信満
松本 良二
河越 良二

議会運営委員会は、議会の運営、議会の会議規則・委員の諮問に関する条例等、及び議長の諮問に関する事項について調査・検討を行うなど、議会の円滑な運営を図ります。

議会運営委員会

委員長 上田 孝春
副委員長 高見 則夫
委員 桑田 達也
谷口 秀夫
寺垣 健二
鶴巻 順
松田 重実
森本 正行
吉田 博幸
村口 英子
本多 達郎

平成十三年度鳥取市歳入歳出各会計(一般・特別会計)の決算認定について、閉会中に審査する。

決算審査特別委員会

入江 順子
吉田 博幸
森田 紘一郎
村口 英子
上田 孝春

市政に関する一般質問から

改選後初となる十二月定例会の一般質問は、十二月十九日、二十日、二十四日の三日間にわたり、二十八人の議員により行われました。今号では、各議員の質問の中から、それぞれ一項目について質問・答弁の要旨を掲載しています。

角谷敏男議員（共産党）

祝日のごみ収集

質問 祝日にごみ収集は実施されていないが、ハッピーマンデーの関係で、特に月曜日の収集回数が少なく不公平となっている。改善できないか。

市長 祝日のごみ収集は多くの市民から要望があり、市民サービス向上の観点から改善が必要と認識している。このため、平成十五年四月から、正月三日を除き、ハッピーマンデーだけでなく、月曜から土曜までのすべての祝日についても、指定された収集日には可燃ごみを収集する体制がとれるよう準備を進めている。

藤原繁義議員（民世会）

合併協議会と市議会

質問 合併協議会は今後、合併協定項目や市町村建設計画な

どを決定していくが、その際、市議会の合意を得た上で、合併協議会に提案するのか。



合併協議会のようす

市長 重要な案件は当然、全員協議会や合併特別委員会に対して適時、適切に説明をしていきたい。合併協議会の情報は、議会代表の方から議員の皆様にあるものと思う。市町村建設計画については、素案を議会にできるだけ早い時期に十分説明し、お諮りしたうえで、平成十六年の初めには協定を結びたいと考えている。

河越良一議員（こつ風）

PFI事業の導入

質問 公共施設の運営等に民間の資金や経営能力を活用するPFI事業を、白兔道の駅や弥生にぎわい拠点事業などの現事業に導入してみてもどうか。

市長 PFI事業は、本市においても、ぜひ活用したいと思っている。厳しい財政事情の中、効率的な行財政を運営するためには、民間活力を十分活用することが重要である。検討プロジェクトを設置し、今年度中にも検討結果をまとめたい。現事業への導入については、PFIも一つの選択肢として、積極的に可能性を検討していきたい。

村山洋一議員（新政会）

浄水場工事中止と損害賠償

質問 浄水場の工事中止に伴い、契約している請負業者への

賠償義務が生じる。その具体的内容は何か。また、その対応をどのようにされるのか。

水道事業管理者 契約解除となるのは、沈殿池築造工事など急速な過に係るもので、契約額の合計は二十数億円になる。現場事務所の管理費や撤去費などの実害費用は当然支払わなければならないが、完成という仮定での経営上の影響が非常に難しい問題となる。勉強し研究しながら、適切に対応するということまで答弁させていただく。



工事を中止している江山浄水場

山下武雄議員（新政会）

市長の政治理念と政治手法

質問 市長は、人当たり耳ざわりはよいが、肝心な論点は不明確とも言われている。審議会等の結論待ちではなく、「竹内イズム」があってもよいのでは。

市長提出議案

〈合決されたもの〉

十二月定例会

第113号 14年度鳥取市一般会計補正予算（第4号）

第114号 14年度鳥取市各特別会計補正予算（土地区画整理費、下水道事業費、簡易水道事業費、公設卸売市場事業費、駐車場事業費、国民健康保険費、住宅新築資金等貸付事業費、農業集落排水事業費、介護保険費）

第123号 14年度鳥取市各企業会計補正予算（水道事業、病院事業）

第126号 鳥取市職員給与条例等の一部改正

第127号 鳥取市手数料条例の一部改正

第128号 鳥取市簡易水道事業給水条例の一部改正

第129号 鳥取市水道事業給水条例の一部改正

第130号 鳥取市有線テレビジョン放送施設の設置及び管理に関する条例の廃止

第131号 鳥取市・河原町合併協議会を設置する普通地方公共団体の数の増加及び鳥取市・河原町合併協議会規約の変更

第132号 鳥取市・鹿野町合併協

市長 市民の立場に立つ、市民生活を大切にすることを基本理念に、市民参画を積極的に取り入れ市政を推進している。また、事柄によっては審議会や検討委員会に諮り、専門的見地からの検討をしていただくことも重要であると考ええる。よい結果を生むためにはどういう取り組みが一番よいか、適切に対処していきたいと考える。

松田重実議員 (こつ風)

三十人学級編成の今後

質問 子どもたちが幸せに成

十一月臨時会

十一月八日臨時市議会が開かれ、市町村合併に係る次の四案をいずれも原案どおり可決した。

- ▼平成十四年度鳥取市一般会計補正予算(第三号)
- ▼鳥取市・国府町・福部村合併協議会の設置について
- ▼鳥取市・河原町合併協議会の設置について
- ▼鳥取市・鹿野町合併協議会の設置について

長するには、伸び伸びとした教育環境が必要である。平成十三年度から実施している三十人学級は、今後どうなるのか。

教育長 当面、三十人学級は小学校一・二年生で実施しているが、子どもたち一人一人の実態に応じたきめ細かい指導をしていく上で効果が大きく、全学級での実現が望まれている。国も前向きな姿勢を見せており、本市としては三十人学級編成が恒久的なものになるよう、引き続き県や国に要望していきたいと思っている。



30人学級の今後は？

桑田達也議員 (公明党)

若年者の雇用対策

質問 景気低迷の中で、若年者の雇用対策が急がれる。未就職者のための就職アドバイザー

などの制度を設置し、フォローしていくべきではないか。

市長 若年者のフリーターなどの就職については、市としての相談窓口が余り明確な形でできておらず、必ずしも十分でなかったのが現状である。今日の非常に厳しい就職事情を考えると、就職について何らかの相談やアドバイザーをするような体制を整える必要があると考えている。来年度に向けて検討していきたい。

高見則夫議員 (新政会)

米政策転換への対応

質問 国は米政策改革大綱を示し、三十年間の減反政策から農業者、農業団体主体の体制に移行する。これに対する本市の政策・対応をどう考えるのか。

市長 兼業農家を含めた集落営農の推進や担い手の育成を図りながら、市場に評価される米づくり、米以外の作付け転換による少量多品目栽培を推進したいと思っている。あわせて、地産地消といった消費面の取り組みとタイアップし、自給率の向上にも取り組みたい。農家の生産意欲が維持発展できるような施策が市政の大きな課題と考えている。



市場に評価されるこめづくりを！

鶴巻 順議員 (こつ風)

少年犯罪の現状と対応

質問 鳥取署管内の少年犯罪の検挙・補導状況は、県内でも高率である。本市としては、少年犯罪の現状をどう把握し、どういう運動を行っているのか。

教育長 初発型非行が多発しており、また低年齢化していることを危惧している。問題解決の特効薬はないが、子どもが大人に向けてサインを出していることを受け止め、関係機関が連携し協力していかなければならない。少年愛護センターが中心となつて年間百七十回程度声かけ運動を続けており、今後も少年非行の未然防止に努めていきたい。

議員提出議案

〈可決されたもの〉

- 第18号 市町村合併に関する調査特別委員会の設置
- 第19号 中心市街地活性化に関する調査特別委員会の設置
- 第20号 北朝鮮による拉致問題の徹底説明等を求める意見書
- 第21号 地域雇用対策の強化・改善を求める意見書
- 第22号 子どもたちの健やかな成長のために総合的な子育て支援策を求める意見書

請願と結果

〈採択となったもの〉

○鳥取市老人福祉センターの機能充実についての請願
(富安 田井 豊)

議会を設置する普通地方公共団体の数の増加及び鳥取市・鹿野町合併協議会規約の変更

第133号 鳥取市監査委員の選任
第134号 鳥取市公平委員会委員の選任

〈修正可決されたもの〉
第126号 鳥取市職員給与条例等の一部改正

第125号 13年度鳥取市歳入歳出各会計決算認定

国富二郎議員 (新政会)

EMによる湖山池浄化

質問 湖山池の浄化にはEM(有用微生物群)が有効である。これは、有害微生物相を人為的にEMに変え、水質浄化をもたらしものである。見解を問う。

建設部長 EMを活用した湖山池の浄化実験は、鳥取EM普及協会により、湖山池に流入する倉見川で、湖山池漁協と県の同意を得て行われている。気温の高くなる春から、本格的な実験を集中的に行う計画のようである。この浄化実験の結果を踏まえ、水質浄化に有効かどうかを調査研究してみたいと考えている。

中博幸議員 (新政会)

鹿野橋下流の旧袋川整備

質問 旧袋川は、鹿野橋を境に整備に差があり過ぎる。市民ふれあい散歩道と立派な銘がついているが、一向に整備が進んでいない。整備計画を問う。

市長 鹿野橋から有門橋の間五百三十メートルの整備を、平成十五年度から着手する。整備に当たっては、日ごろ管理いただいている愛護会等と協議を行い、一時避難場所としての機能

や散歩する方の立場に立ったバリアフリー等の観点も考慮しながら進めたいと考えている。有門橋から下流は、その次の段階の整備と考えている。

寺垣健一議員 (会派21)

膜ろ過方式の審議会諮問

質問 市長は、方針決定の一つの方法に過ぎないはずの検討委員会の結論を、公的諮問機関である水道審議会に直ちに諮問した。真意はどこにあるのか。

市長 諮問に当たっては、検討委員会の報告を尊重する立場を貫いた。報告は膜ろ過だけでなく緩速ろ過の含みもある内容だったが、最終的に一つに決定するため膜ろ過ではどうかと諮問した。多くの市民の意見と審議会の議論に基づく答申を踏まえ、さらに議会にも諮ったうえで、市としての最終的な結論を出すという考え方である。

入江順子議員 (会派風)

ブックスタートの実施

質問 ブックスタートは、母親の子育て支援と、赤ちゃんの言葉と心をぐくむためのメッセージと絵本を手渡す運動であ

る。本市でも予算化できないか。
市長 市長室開放の中で、ブックスタートを熱心に推進しておられる方から、絵本の読み聞かせの効果や、配布の要望を直接お聞きした。家庭での読み聞かせのきっかけとなるよう、平成十五年度から六カ月児を持つ親に対し、絵本二冊とアドバンス集をセットにしたブックスタートパックを配布することにしたいと考えている。

田村繁口議員 (公明党)

古紙類のステーション回収



ごみと一緒に出されている古紙類

質問 広域処理場の早期建設に合わせ、ごみの減量化が重要な課題である。再資源化できる古紙類について、ステーション回収すべきと思うが。

市長 ごみの減量化は、処理施設の延命化だけでなく、二酸化炭素削減による地球温暖化防

止のためにも積極的に取り組んでいかなければならない。平成十五年度の新しい施策としては、現在、四千トン程度焼却処理されている新聞や雑誌などの、いわゆる古紙類をステーション収集し、再資源化を図るための準備をしているところである。

谷口 満議員 (会派21)

福祉の基本理念

質問 まちづくりとは、いかにして福祉サービスを充実させ、住みやすい鳥取市を目指すのかということだ。市長はどのように考えるか。

市長 一人一人の福祉の豊かさや幸せが感じられる社会をつくるという趣旨で、まちのいろんなところで具体的に実感できるように施策を考えていきたいと考える。市民生活を大切にするとという観点から、福祉の取り組みに当たっては、市民の生活や暮らしを守っていくんだということを中心に据え、できる限り努力をしていきたい。

橋尾泰博議員 (新政会)

市役所庁舎のあり方

質問 市街地活性化や市町村

合併の観点を踏まえ、まちの中心にあるべき市庁舎のあり方について、市長はどのように考えているのか。将来展望を尋ねる。

市長 市庁舎のあり方は、合併協議会で協議される町村役場の位置づけや新市の組織体制を十分に踏まえて考えなければならぬ。現位置での建てかえが大変有力な候補であろうと思うが、今の時点では明確な結論づけは難しいのではないかと。財政的な見通しが必要と問われる問題であり、こうしたことも十分考え答えをだしていきたい。

山崎健一議員 (公明党)

学校給食の地元魚介類

質問 学校給食における魚介類は、約十％しか県内産が使われていない。地産地消の観点から、地元産の魚介類を学校給食に利用できる対応策はないか。

教育長 早急に地産地消の担当課である農林水産課や漁業関係団体と話し合い、来年度、地元魚介類の食材購入拡大に向けた協議を開始したいと考える。計画的な安定購入が可能かどうか、価格にどうか、など具体的な課題もでてくると思うが、そういう課題を一つずつクリアし、何とか地元産の使用を増や

していきたいと考えている。

上田孝春議員（民世会）

マンション用地取得の強行採決

質問 わらべ館関連用地として開発公社が西町マンション予定地を取得することが、議会選出の理事全員反対の中、強行採決された。市長の判断を問う。

市長 マンション予定地に係る経過は、開発公社の理事会でも十分に説明し、議論を重ねてきた。相手方が買収の期限を過ぎれば工事を行うことを明言する中で、最終的に用地取得のルールにのっとり採決した。あくまで議論を重ねた上での最終的な判断を出すためであり、強行採決といったものではないと考える。

西川洋々議員（民世会）

市長自身の処分

質問 下水道部の業者との不適切な関係では、処分が部下だけで終わっている。市長自らが処分の対象者であることを忘れてはいないか。

市長 私の指導が不徹底であったと反省している。この反省を踏まえ、こうしたことが再発することがないように、下水道協会だけでなく市政全般にわたって指導を徹底したい。職員が行った行為について私自身が処分の対象者であることはもちろん承知しているが、再発防止をきちんと行うことが、私の一番の大きな責任と考えている。

松本信光議員（いっ風）

西浜開発の観光拠点整備

質問 松葉ガニ展示施設である「かにっこ館」の活用など、通過型から滞在型に変えていく西浜地区の観光拠点整備の構想を尋ねる。

市長 夏に開館予定の「かにっこ館」は「かろいち」とあわせて観光のメッカにしていきたい。広域観光ルートの中にきちっと位置づけPRを行いたい

と考える。さらに、吉備真備をテーマとする米倉の公園化は、展望公園として本市が整備を進める計画である。歴史を振り返る由来板等の整備も、地元とも協議しながら進めていきたい。



昨年11月にオープンした海鮮市場「かろいち」

本多達郎議員（新政会）

エクアドルとの友好交流

質問 エクアドルチームのキャンプは経済効果に加え、子どもたちに大きな夢を与えてくれた。今後、エクアドルとの交流をどのように考えるのか。

市長 エクアドル共和国訪問で、外務省やサッカー協会等の関係者と協議し、今後の友好関係についての気持ちを確認してきた。鳥取に対して大変熱い思いを持っておられ、前向きな発言をいただいている。私として

は、友好交流記念日制定や、鳥取・エクアドル友好協会の設立など、あくまで地道な取り組みを進めたいと考えている。

谷口秀夫議員（公明党）

在宅介護の情報提供

質問 市民が安心して在宅介護を受けるためには、在宅介護支援センターのサービス内容などの情報提供が大切である。どのようにされているのか。

市長 全所帯に介護保険事業等のあらましがわかる福祉の手引きを配布し、市のホームページにはサービス事業者一覧を載せている。また、高齢社会課の窓口等では、施設の概要をパンフレット等で案内している。さらに、来年度には介護保険ガイドブックを作成し、市民にわかりやすく見やすい情報提供に工夫をしていく予定である。

村口英子議員（共産党）

医療制度改悪と患者数への影響

質問 診療報酬の二・七％引き下げや高齢者の負担増が医療機関の経営を圧迫している。市立病院の患者数にはどう影響しているのか。

病院事業管理者

四月のマイナス改定で、オープン以来伸び続けてきた外来患者数は、九月までの上期で前年同期比五千人約四％の減。十月の高齢者負担増で十月が五％、十一月が十一％の減となった。厳しい状況だが、支出を切り詰め経営安定を図りながら患者サービスに努め、地域ニーズにこたえる医療の提供に頑張っていきたい。



鳥取市立病院

中西照典議員（いっ風）

中小企業支援と組織改革

質問 地場産業を襲う不況の嵐は、既存の行政組織では対応できない。部課横断的な組織を設置し、積極的に中小企業を支援する必要があるのでは。

市長 一元的な組織体制は大きな課題である。来年度の組織づくりや体制整備の中でしつか

人事

十二月定例会で同意(敬称略)

◎監査委員

- 寺垣 琢生（新任）
- 片原五丁目一八
- 藤原 繁義（新任）
- 大畑四四九

◎公平委員会委員

- 川下 豊洋（新任）
- 大栲二三五―一四

りと考えていきたい。現在、商工課の商工振興係で、企業に対する情報提供や経営指導の紹介等の活動をしているが、中小企業対策を総合的に推進し、雇用の問題に対して、さらに一步先に手を打つような制度づくりもやっていきたいと考えている。

秋口政俊議員 (こつ風)

市町村合併後の財政見通し

質問 市町村合併後の枠組みの中で、市長の言われる「負担は低い方に、サービスは高い方に」という考え方は、財政上可能なのか。

市長 行政サービス調整の協議方針は、第一回合併協議会で確認されている。果たしてそれが可能かどうかは、市民生活に及ぼす影響も考え、これから個々のサービスごとに検討をすることになっている。国による財政支援策等も活用し、全体の財政計画も踏まえながら、できる限りその方針に沿った調整を貫きたいと考えている。

森田紘一郎議員 (会派2)

合併後のまちづくりと地域審議会

質問 合併の建設計画を立て

る前に各町村に地域審議会を設け、地域住民の意見を計画に盛り込んでいけるようにするべきでは。市長の見解を伺う。



合併後の地域づくりは？

市長 合併後の地域づくりにおいて、各地域の住民の意見を反映させる仕組みは重要な課題である。御指摘の地域審議会は規約等により設置も可能であるが、具体的には合併協議会の場で議論し、最終的な方針を決めることになる。合併する市のあるり方についての意見集約は、これに限らずいろいろな方法を含め十分考えていきたい。

森本正行議員 (こつ風)

高齢者の社会貢献の受入体制

質問 数年後、団塊の世代が六十歳を迎える。その数は現在の比ではない。今のままで果た

して、生きがいの追求や社会貢献の受け入れ体制は十分か。

市長 活力に満ちた長寿社会建設のためには、定年後も引き続き社会に貢献していただける体制づくりが大切である。本市では、技術取得の講習会、社会奉仕活動への支援、ふれあいデイサービス事業などに取り組んでいるが、今後ともハード、ソフト事業の両面から高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進を図っていく考えである。

武田えみ子議員 (公明党)

浄水場建設の総合的見解

質問 浄水場建設に係る一連のことを総括し、水道事業管理者はどのような見解を持っているのか。就任してまだ間もないが、率直な思いを聞きたい。

水道事業管理者 急速な過方式は、当時として最善の判断をされたものと考えている。しかしながら、その後、さまざまな経過をたどり、見直し検討委員会に至った。その中で、浄水場の建設工事を一時中止しているわけだが、この問題については今後とも引き続き市民に情報公開し、納得される結論を得ていくことが重要であると考えている。

市議会ホームページができました

- ◇ **閲覧方法** ◇
- ①市のホームページにアクセス
- ②トップページ右下、情報コーナーの市議会ホームページを選択
- ③市議会ホームページトップへ
- ◇ **掲載項目** ◇
- * 委員会別議員名簿
- * 議員の紹介
- * 定例会日程
- * 傍聴のしかた
- * 一般質問通告一覧
- * 議員提出議案
- * 提出議案と議決結果
- * 市議会の役割としくみ
- * 本会議と委員会
- * 請願・陳情
- * 議会事務局
- * 市議会会議録 (平成十年第一回臨時会より閲覧可能になりました！)
- * とっとり市議会だより (PDFファイル)



◎ 次回定例会のお知らせ

| | |
|----------|----------------|
| 3月11日(水) | 開会・提案説明 |
| 12日(木) | 休会 |
| 13日(金) | 先議 |
| 14日(土) | 一般質問 |
| 15日(日) | 休会 |
| 16日(月) | 休会 |
| 17日(火) | 一般質問 |
| 18日(水) | 一般質問 |
| 19日(木) | 一般質問 |
| 20日(金) | 質疑・委員会 |
| 21日(土) | 休会 (春分の日) |
| 22日(日) | 休会 |
| 23日(月) | 休会 |
| 24日(火) | 委員会 |
| 25日(水) | 委員会 |
| 26日(木) | 委員長報告・討論・採決・閉会 |

※この日程は変更になる場合があります。

編集委員会

新しい編集委員会体制が決定しました。委員構成は次のとおりです。(委員は議席順)

委員長 両川 洋々 (民世)
 副委員長 高見 達也 (新政)
 委員 桑田 達也 (公明)
 委員 中西 照典 (こつ風)
 委員 角谷 敏男 (共産)
 委員 森田 紘一郎 (21)

あとがき

十二月定例会は、議員改選後の初定例会でしたが、過去最高の二十八人が登壇。活発な議論が交わされました。市議会だよりも気持ち新たに、一層読みたい紙面作りを目指して頑張っていきたいと思っております。ご意見やご感想等がありましたら、議会事務局までお寄せください。

電話 二〇一三三四三
FAX 二〇一三〇四九